

産業廃棄物処理計画書 記載例

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
石川県知事 殿	令和4年〇月〇〇日 提出日を記入
法人代表者(又は支店等の代表者)を記入 代表者印及び社印等の押印は不要	提出者 住所 石川県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 氏名 〇〇株式会社 代表取締役 石川 一朗 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	〇〇株式会社 石川支店
事業場の所在地	△△市△△町△△丁目△番地 「計画期間」は今年4月1日から、翌年3月31日を記載
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	〇〇 〇〇業 「事業の種類」は、日本標準産業分類の中文 類コード及び事業区分を記入 例) 83 医療業
②事業の規模	〇〇〇〇万円 「事業の規模」は、 建設業：元請完成工事高(令和2年度実績) 製造業：製造品出荷額(令和2年度実績) 医療機関：病床数(令和2年度末時点)
③従業員数	〇〇〇人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	例) ・廃プラスチック類→全量処理委託(焼却) ・木くず→再生処理業者に委託して、木材チップとして再資源化 ・金属くず→分別して有価物として売却 ・がれき類→再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 (書ききれない場合は別紙を添付してください。 また、フロー図等で示しても構いません)

**枠内に収まらない場合は、別紙を添付してください。
(別紙参照と記入)** (日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

「管理体制図」は、役職名と産業廃棄物処理に係る役割を記載してください。ただし、**個人情報**は記入しないでください。
また枠内に書ききれない場合は、別紙を添付してください。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類
	排出量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) ・工法の改善		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類
	排出量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取組みを実施予定 ・梱包材の簡素化 ・製造量に併せて製造ラインの効率的な運用を図る		

産業廃棄物の種類が3種類以上ある場合は、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付して下さい。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類（コンクリート殻、アスファルト殻）は分別するとともに、石綿含有産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類を種類ごとに分け、原材料として再利用出来るものを分別する。

自社で直接再生利用した産業廃棄物、及び自社で中間処理した後、再生利用した産業廃棄物について記載して下さい。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特に実施していない場合は、特になしと記入してください。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。		

自社の焼却施設で熱回収を行っている場合は記載して下さい。(焼却前の重量を記入)

自社の焼却脱水等の中間処理により、減量した場合は、記載して下さい。(減量化した重量を記入)

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。		

産業廃棄物を処理業者に委託している場合は、以下の欄に記載してください。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類
	全処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃プラスチック類の内、プラスチック製品として再生利用可能なものは、再生事業者処理を委託している。		

再生利用業者への処理委託量とは、以下の業者に委託した量をいいます。

- ・「産業廃棄物再生利用大臣認定」再生利用認定業者
- ・上記に該当しないが、事業者が委託した産業廃棄物を再生処理していることが確実な再生事業者

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	がれき類
	全処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	再生利用業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・ 電子マニフェストを導入しているため、電子マニフェストに対応可能な処理業者から選定 ・ 再生利用、熱回収可能な廃棄物については、再生利用事業者、熱回収事業者へ、極力処理委託する。 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。